

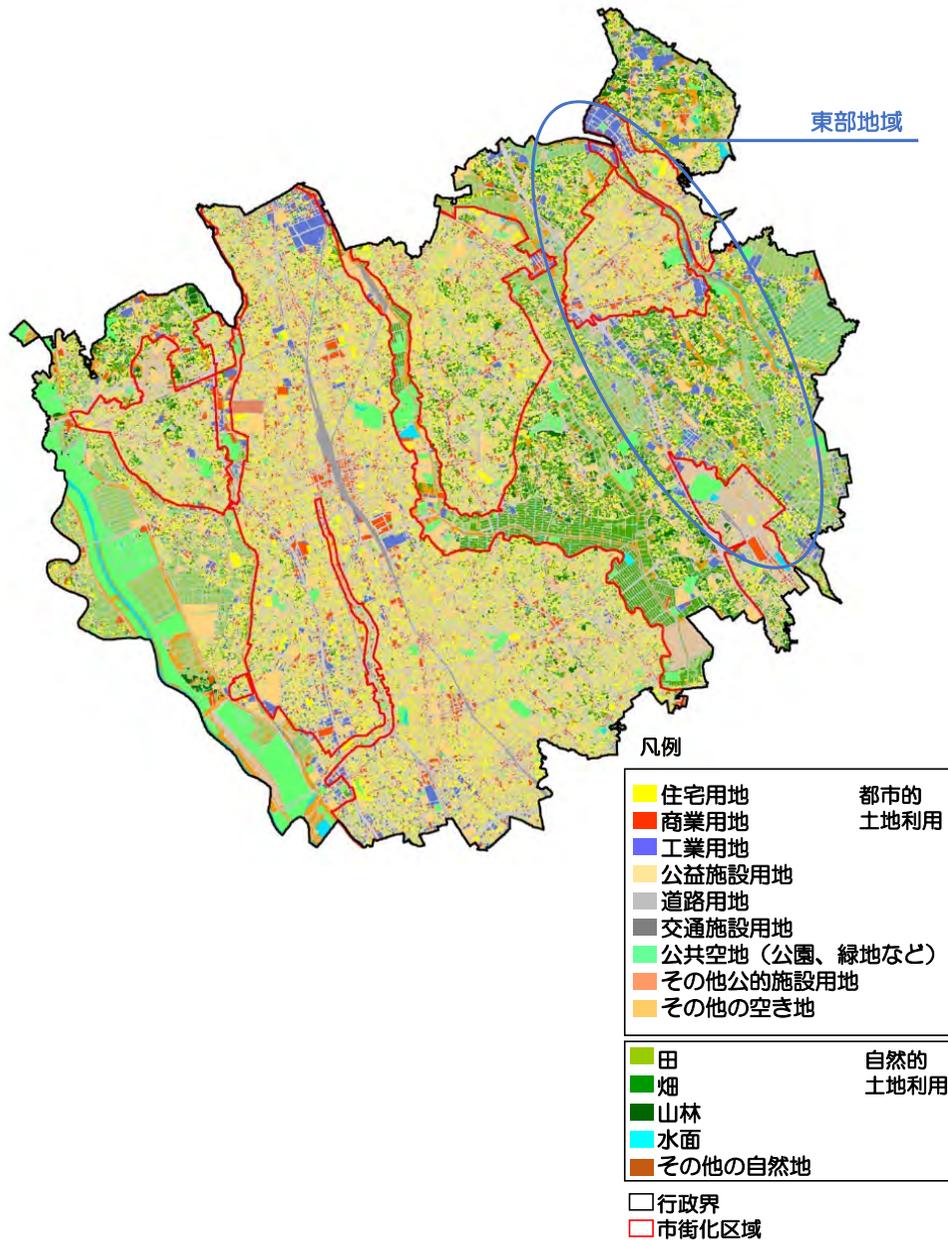
第1回地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸協議会 まちづくり分科会【参考資料】

内 容

- ① 浦和美園～岩槻地域の土地利用について
- ② 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン(平成27年度、平成28年度) 43方策の評価について
- ③ 住民基本台帳による人口移動実態調査結果について【浦和美園駅周辺地区】
- ④ 浦和美園駅周辺における居住者アンケート調査結果(抜粋版)
- ⑤ 浦和美園駅周辺における商業・業務事業者アンケート調査結果(抜粋版)
- ⑥ 浦和美園駅周辺におけるサッカー観戦者調査結果(抜粋版)
(「地下鉄7号線延伸線基本計画(平成26年3月)」より)
- ⑦-1 イベント主催者アンケート調査結果【浦和美園駅周辺地区】(抜粋版)
- ⑦-2 イベント主催者アンケート調査結果【岩槻駅周辺地区】(抜粋版)
- ⑧ (仮称)岩槻人形博物館概要
- ⑨ 岩槻駅周辺地区において開催された主なイベントの来場者調査(抜粋版)
(「平成26年度浦和美園～岩槻地域移動実態調査業務報告書(平成27年3月)」より)
- ⑩ 大学附属病院等整備計画の概要
- ⑪ 答申準拠ケース等について
- ⑫ 浦和美園駅周辺地区の将来人口の推計について

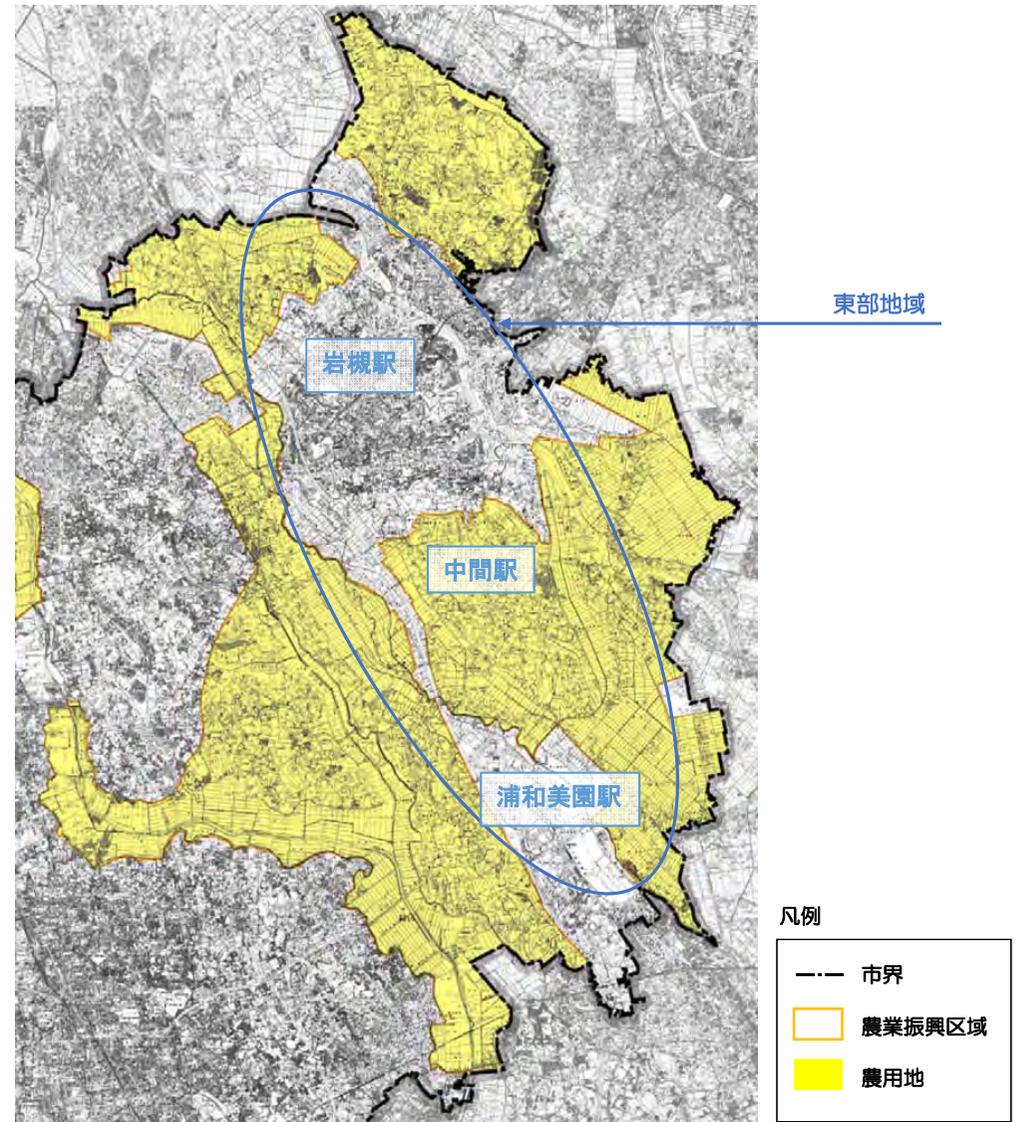
①浦和美園～岩槻地域の土地利用について

さいたま市の土地利用現況図



出典：都市計画基礎調査（平成23年）より作成

さいたま市東部地域の農業振興区域農用地



出典：さいたま市田園環境整備マスタープラン（改訂版）

②浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン(平成27年度、平成28年度) 43方策の評価について

【事業遂行に関する評価】

◎：計画を上回って達成 ○：計画を概ね達成 ■：計画推進中 ▲：計画未実施 ×：計画廃止

【成長目標の効果発現】

A：効果が発現した方策 B：今後効果が発現する方策 -：その他（直接的に定住・交流人口増に結びつかない方策）

方策No	方策名	地区	概要	目標	評価		評価のコメント
					各年度の目標に対する評価	成長目標に対する評価	
1	ブランドイメージ戦略	延伸線全体	・ウェブサイト等で地域の魅力(イベントや地域資源情報等)を発信	・ウェブサイト等で地域の魅力を発信し、定住・交流人口の増加を図る	◎	A	・タイムリーなウェブサイトの更新・改善を行ったこと、また新たに定住促進コンテンツ(住民の生の声)を取り入れるなど新しい試みによりアクセス数が増加
2	施設誘致・整備	延伸線全体	・企業を誘致するため訪問、ヒアリング、アンケート調査等を実施 ・小・中学校、保育所整備の検討、整備 ・浦和美園駅東口駅前複合公共施設の整備	・企業誘致や教育施設、公共機能を整備し、定住・交流人口の増加を図る。	◎	B	・企業誘致に向けた取組を実施(延伸線全体) ・小学校、中学校は、目標である平成31年度に開校するも見込みであり、認可保育所も3箇所新設(浦和美園) ・駅前複合公共施設(支所、図書館、コミュニティセンター等)が、平成28年1月に開設(浦和美園)
3	土地利用促進方策の推進	浦和美園駅周辺	・魅力的なまちづくりを進めるため、土地利用を検討	・魅力的なまちづくりを推進し、定住・交流人口の増加を図る。	○	B	・UR施行地区では保留地が完売するなど、土地利用が促進 ・市施行地区(浦和美園第一)では、保留地の利活用などを検討 ・みその都市デザイン協議会(H28.3設立)等と連携し公共空間などの利活用を検討開始
4	浦和美園駅周辺 土地 区画整理事業の推進	浦和美園駅 周辺	・浦和美園第一特定土地区画整理事業(市施行) ・浦和美園第二特定土地区画整理事業(UR施行) ・岩槻南部新和西特定土地区画整理事業(UR施行) ・大門下野田特定土地区画整理事業(市施行) ・大門上・下野田特定土地区画整理事業(組合施行) ・大門第二特定土地区画整理事業(組合施行)	・道路・公園などの都市基盤施設の整備をはじめ、土地の整序を行うことにより魅力的なまちづくりを創出し定住人口の増加を図る。	○	A	・UR施行2地区(浦和美園第二、岩槻南部新和西地区)は事業完了 ・他4地区は事業推進中 ・6地区の総人口は2年間で約1,500人増加 ※(H27年 10,293人→H29年 11,791人 各年9月1日現在人口)
5	憩い空間の創出	浦和美園駅 周辺	・公園、緑地の整備 ・綾瀬川に関連する調節池・管理用道路の利活用	・公園緑地の整備や綾瀬川に関連する調節池・管理用道路の利活用により魅力的な住環境を創出し、定住人口の増加を図る。	○	B	・H27年度(街区公園2箇所、緑地1箇所) ・H28年度(街区公園9箇所、緑地7箇所)を供用開始 ・綾瀬川、調節池を活用した親水空間や憩いの場づくりについて検討(みその都市デザイン協議会)
6	観光機能の強化(散策 ルート、観光マップ、地場 産販売、外国人観光客 誘致など)	浦和美園駅 周辺	・観光パンフレット等を作成し、市内外に配布(外国語版も作成) ・浦和美園駅東口駅前複合公共施設での農産物直売	・観光パンフレットの配布や農産物直売所などの観光機能を整備し、交流人口の増加を図る。	○	A	・観光パンフレットを作成。外国語表記のパンフレットも作成し、羽田空港で配布するなど外国人観光客にもPR ・浦和美園駅構内で毎月1回地域密着型マルシェ「みそのいち」を開催
7	イベント開催、誘致(埼玉 スタジアム2022活用、 スポーツ・健康にちなん だイベントなど)	浦和美園駅 周辺	・さいたまシティカップ ・日光御成道 美園 大門宿まつり ・さいたま国際マラソンなど	・イベント開催、誘致により交流人口の増加を図る。	○	B	・既存イベントに加え、日光御成道美園大門宿まつり、さいたま国際マラソンといった新たなイベントを実施
8	パークアンドライドの検討	浦和美園駅 周辺	・高速バス発着の可能性検討	・パークアンドライドにより地域への移動量の増加を図る	○	A	・「遠野一釜石号」がH27.6より浦和美園を経由
9	バス路線の変更	浦和美園駅 周辺	・土地区画整理事業地内にバス路線を新設	・バス路線を新設し、交通の利便性向上を図ることにより、浦和美園周辺の定住・交流人口の増加を図る。	○	B	・土地区画整理事業地内の人口増に伴い、H27.8よりバス路線を地区内に路線変更
10	アーバンデザインセン ターみその整備事業	浦和美園駅 周辺	・アーバンデザインセンターみその整備 ・浦和美園インフォメーションセンターの運営	・アーバンデザインセンターみその等を拠点に地域の魅力を発信し、定住・交流人口の増加を図る。	○	A	・H27.10、浦和美園駅西口に「アーバンデザインセンターみその」を開設
11	みその都市デザイン協議 会	浦和美園駅 周辺	・地権者・住民、民間事業者、大学、行政などで構成する組織で、地域の都市デザインを検討・推進	・地域の都市デザインを検討・推進し、定住・交流人口の増加を図る。	○	B	・H27.10「みその都市デザイン協議会準備会」を設立 ・H28.3「みその都市デザイン協議会」を設立 ・H29.4「みその都市デザイン方針」を策定
12	超小型モビリティの導入 促進	浦和美園駅 周辺	・超小型モビリティ(二人乗り乗用車、自転車)等のシェアリング	・地域の公共交通を補完する移動手段の実証事業により、事業としての実現性を目指し、地域の定住・交流人口の増加を図る。	○	B	・H29.3より電動アシスト自転車シェアリングの実証事業の開始
13	スマートホーム・コミュニ ティの普及	浦和美園駅 周辺	・スマートホーム・コミュニティ事業(戸建住宅)	・スマートホームを整備し、定住人口の増加を図る。	○	A	・H28年度に33戸(2街区)の戸建住宅が完成

【事業遂行に関する評価】

◎：計画を上回って達成 ○：計画を概ね達成 ■：計画推進中 ▲：計画未実施 ×：計画廃止

【成長目標の効果発現】

A：効果が発現した方策 B：今後効果が発現する方策 -：その他（直接的に定住・交流人口増に結びつかない方策）

方策No.	方策名	地区	概要	目標	評価		評価のコメント
					各年度の目標に対する評価	成長目標に対する評価	
14	埼玉スタジアム駅設置に合わせたまちづくり方策の検討	浦和美園駅周辺	・埼玉スタジアム駅周辺を含めたまちづくりについての検討	・地下鉄7号線延伸線沿線全体のまちづくりのあり方を検討	○	-	・地下鉄7号線沿線エリアのまちづくりのあり方を作成
15	国際スポーツタウン構想の推進	浦和美園駅周辺	・国際スポーツタウン構想の推進	・さいたま市国際スポーツタウン構想に基づき、スポーツシュレの設置を検討し交流人口の増加を図る。	○	B	・スポーツ施設の整備・運営に関する指針を策定
16	岩槻まちづくりアクションプランの推進	岩槻駅周辺	・岩槻まちづくりアクションプラン(31事業)の推進 ・岩槻歴史街道事業の推進	・岩槻まちづくりアクションプランの推進により定住・交流人口の増加を図る。	○	B	・岩槻まちづくりアクションプラン(第I期)に位置づけた事業を進捗管理 ・裏小路について、H28.2地元組織「裏小路まちづくり協議会」が設立 ・H29.3「裏小路まちなみルール素案」を取りまとめた
17	観光施策の推進体制の強化	岩槻駅周辺	・複数イベントの同日開催	・複数イベントを同日に開催し、交流人口の増加を図る。	○	A	・人形供養祭、岩槻鷹狩り行列、市宿のいち、ふれあいフェスタを同日に開催
18	人形文化・観光機能拠点の整備	岩槻駅周辺	・岩槻観光案内所整備事業 ・(仮称)岩槻人形博物館整備事業	・人形文化・観光機能拠点の整備により交流人口の増加を図る。	○	B	・岩槻観光案内所がH28年度末完成 ・(仮称)岩槻人形博物館のH31年度開設に向け、事業者と契約
19	岩槻駅西口土地区画整理事業の促進	岩槻駅周辺	・岩槻西口土地区画整理事業(市施行)	・道路・公園などの都市基盤施設の整備をはじめ、土地の整序を行うことにより定住人口の増加を図る。	○	B	・建物移転などの事業を実施 H27年度：移転済件数6件、H28年度：移転済件数6件 H28年度末建物移転率 161件/232件=69.3% ・H29.3土地活用セミナーを実施
20	岩槻駅周辺環境整備	岩槻駅周辺	・岩槻駅舎改修事業 ・都市計画道路の整備(2路線) ・公園(公園空白地域)の整備 ・岩槻観光案内所整備事業	・岩槻駅及び周辺の環境整備を行い、定住・交流人口の増加を図る。	○	B	・岩槻駅舎がH28年度末完成 ・都市計画道路(岩槻駅西口駅前通り線、岩槻中央通り線)供用開始 ・H28年度内用地取得
21	歴史・文化にちなんだイベントの開催	岩槻駅周辺	・人形のまち 岩槻朝顔市 ・人形のまち 岩槻まつり ・岩槻城址公園 桜まつり ・城下町岩槻鷹狩り行列	・イベント開催により交流人口の増加を図る。	◎	A	・まちの活性化と賑わいの創出が図られた。 ・鷹狩り行列では子ども忍者隊や外国人による舞など新たな内容を取り入れた。
22	観光機能の強化	岩槻駅周辺	・観光PR事業(観光案内マップ、観光案内サイン等) ・観光ボランティア会等の育成・活用 ・半日観光ルート事業 ・岩槻自転車観光コースの設定	観光機能の強化推進により交流人口の増加を図る。	○	B	・観光案内マップ、観光案内サイン、自転車観光コースを作成 ・観光ボランティア会によるガイドなどを実施
23	目白大学、目白クリニックとの連携	中間駅周辺	・目白大学での公開講座の実施	・目白大学での公開講座実施により中間駅周辺周辺を含め、浦和美園～岩槻地域の移動量増加を図る。	◎	A	・H28年度は6回のイベントを開催し、543名の受講があった。
24	農業交流	中間駅周辺	・遊休農地の有効利用を目的に、コスモス祭りを開催 ・農業交流	・イベント開催により交流人口の増加を図る。	○	A	・コスモスまつりや食の祭典「いわつきマルシェin目白大学」を実施
25	施設誘致・整備	延伸線全体	・企業誘致のための進出意向アンケート調査	・誘致企業の事業活動に伴う交流人口の増加を図る。	○	B	・企業誘致に向けた取組を積極的に実施
26	イベントの開催、誘致(健康・スポーツにちなんだイベント)	中間駅周辺	・さいたまーチー〜見沼ツデーウォーク〜	・イベント開催により交流人口の増加を図る。	○	A	・ウォーキングを実施 H28.3(約5,316人参加) H29.3(約4,899人参加)
27	新駅設置に合わせたまちづくり方策の検討	中間駅周辺	・新駅(中間駅)周辺のまちづくり方策の検討	・地下鉄7号線延伸線沿線全体のまちづくりのあり方を検討	○	-	・地下鉄7号線沿線全体のまちづくりのあり方を作成
28	施設誘致・整備施設の立地を想定した開発可能性の検討(市街化調整区域)	延伸線全体	・地下鉄7号線延伸線沿線エリアにおけるまちづくり方策の検討 ・企業アンケート	・地下鉄7号線延伸線沿線全体のまちづくりのあり方を検討 ・企業誘致による交流人口の増加を図る	○	B	・地下鉄7号線沿線全体のまちづくりのあり方を検討 ・企業誘致に向けた取組を実施

【事業遂行に関する評価】

◎：計画を上回って達成 ○：計画を概ね達成 ■：計画推進中 ▲：計画未実施 ×：計画廃止

【成長目標の効果発現】

A：効果が発現した方策 B：今後効果が発現する方策 -：その他（直接的に定住・交流人口増に結びつかない方策）

方策No.	方策名	地区	概要	目標	評価		評価のコメント
					各年度の目標に対する評価	成長目標に対する評価	
29	イベントの開催、誘致	延伸線全体	・3区連携ふれあいウォーキング ・てくてく見沼 ・さいたま市花火大会(岩槻会場) ・見沼田んぼクリーンウォーク ・農業・食にちなんだイベント(いわつきマルシェin目白大学)	・イベント開催による交流人口の増加を図る。	◎	A	・各種イベントを実施し交流人口増に寄与した。 ・H27年度より新たなイベントとして目白大学と連携し、「いわつきマルシェin目白大学」を実施。
30	観光機能の強化	延伸線全体	・観光PR事業(観光案内マップ、観光案内サイン等) ・観光ボランティア会等の育成・活用 ・半日観光ルート事業 ・岩槻観光案内所整備事業	・観光機能の強化・推進により交流人口の増加を図る。	○	B	・観光パンフレットの作成や観光ボランティア会等の育成・活用 ・岩槻観光案内所がH28年度未完成
31	見沼田圃を活用した交流	延伸線全体	・見沼田圃基本計画アクションプラン市民プロジェクトの推進 ・サクラサク見沼田んぼプロジェクト推進事業	・見沼散策環境の向上や交流の場の創出、桜回廊整備などにより交流人口の増加を図る。	○	B	・案内板、誘導サイン等の設置、見沼代用水沿いに約20kmの桜回廊を整備(計画達成)
32	浦和美園から岩槻までの快速バス運行	延伸線全体	・浦和美園駅から目白大学を経由し、岩槻駅までの快速バスを運行	・延伸線全体の移動量の増加を図る。	○	A	・8便/日運行 約80人/日の利用 ・乗客増加策として小学生の絵を展示した「ギャラリーバス」を運行
33	移動方策(バスなど)の充実	延伸線全体	・浦和美園駅からしらこぼと水上公園へのバス運行	・埼玉高速鉄道及びバスの乗車券、プール入場券をセットにした割引セット券により、鉄道利用者(交流人口)の増加を図る。	○	A	・8便/日運行 H27約5,000枚販売 H28約4,000枚販売
34	自転車ネットワークの検討	延伸線全体	・安全で快適な自転車の通行環境を計画的に整備	・浦和美園～岩槻地域を含め市内全体の回遊性を高め、交流人口の増加を図る。	◎	B	・自転車の通行環境の整備を実施 H27 約24km整備(内岩槻約1.4km) H28 約16km整備(岩槻約1.6km)
35	埼玉高速鉄道線沿線活性化、交流促進	延伸線全体	・ガイドマップやウェブで埼玉高速鉄道沿線の魅力、まちづくり及び定住促進情報等を発信 ・東京メトロ南北線等の主要駅(後楽園、飯田橋等)で、沿線魅力スポットのPR ・浦和美園まつり&花火大会等のイベント実施	SR沿線地域の魅力のPRやイベント実施により定住・交流人口の増加を図る。	◎	A	・ガイドマップやウェブにより地域の魅力発信 ・東京メトロ南北線や東急目黒線主要駅でのPR活動
36	地域の情報発信・PR	延伸線全体	・ウェブサイトでの情報発信 ・観光マップ等の作成・配布	・ウェブサイトや観光マップ等で地域の魅力を発信し、定住・交流人口の増加を図る。	◎	A	・見沼地域の情報をデータベース化し、ホームページやガイドブック等で情報発信 ・ウェブサイトで地域の魅力を発信(アクセス数増加)
37	地下鉄7号線延伸事業化推進期成会	市民組織	地下鉄7号線延伸に取り組む活動を行う、市民、経済界、沿線大学、スポーツ界などからなる市民団体と連携イベント等を実施	啓発活動やイベント実施により来訪者数の増加を図る	○	A	・会報誌を年2回発行 ・SR乗車会や講演会の実施
38	延伸線整備基金	資金調達	高速鉄道東京7号線の建設促進に要する資金の拡充	高速鉄道東京7号線の建設促進に要する資金の拡充を図る。	○	B	予定通り預金利子及びふるさと応援寄附金の積立てを行った。
39	地下鉄7号線延伸整備調査	鉄道方策関係	建設計画等に関する検討や需要予測等に関する調査・検討を行い、事業性の検証を実施	建設計画等に関する検討や需要予測等に関する調査・検討を行い、事業性の検証につなげる。	○	-	埼玉県と共同で調査を実施したが、事業性を向上させるための需要増加や建設コスト縮減について、一層検討する必要がある。
40	地下鉄7号線延伸運営調査	鉄道方策関係	速度向上に関する調査・検討、既設線利用者及び延伸線沿線居住者への移動実態に関する調査を実施	既設線利用者及び延伸線沿線居住者への移動実態に関する調査を行い、延伸実現につなげる。	○	-	・快速運転による事業性の向上が確認できた。
41	浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議	方策のマネジメント	市長をトップとし、全庁体制で成長・発展プランに掲げる方策の着実な実施及び進行管理を行う	成長・発展プランに掲げる方策の着実な実施及び進行管理を行う。	○	-	推進会議を開催し、方策・事業全体の推進及び着実な進行管理、意見交換を行い、地域全体の成長・発展を図った。
42	浦和美園～岩槻地域移動実態調査	方策のマネジメント	地下鉄7号線沿線地域におけるイベントなどの来訪者に対して、OD交通量についての実態の把握を行う	OD交通量についての実態の把握や、地下鉄7号線延伸に関する意識調査を実施し、延伸実現に向けた検討を行う。	■	-	・需要予測に反映させるため、調査データの精査を行った。
43	7号地域成長・延伸実現マネジメント会議	方策のマネジメント	浦和美園～岩槻地域の成長・発展に資する方策等の推進に当たって、関係者間の連携及び認識の共有化を図る	関係者間の連携及び認識の共有化を図り、延伸の実現に向けた協議を行う。	○	-	・会議を開催し、関係者の連携及び情報共有が図られ、調整の場として活用された。

③住民基本台帳による人口移動実態調査結果について【浦和美園駅周辺地区】

■調査概要

- 平成29年9月30日時点における、浦和美園駅周辺地区に住居登録がある人の、【住所、性別、満年齢、転入前の住所、転出先の住所】を調査
- ①平成18年4月1日～平成29年9月30日までの間に当該地区に転入した歴のある人を抽出
- ②平成18年4月1日～平成29年9月30日までの間に転出した歴のある人を抽出

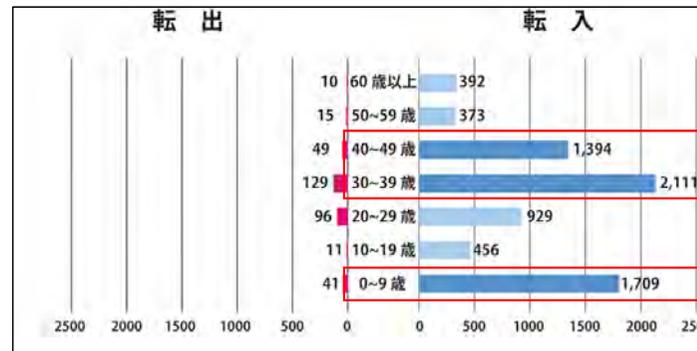
①調査対象範囲



【抽出地区】

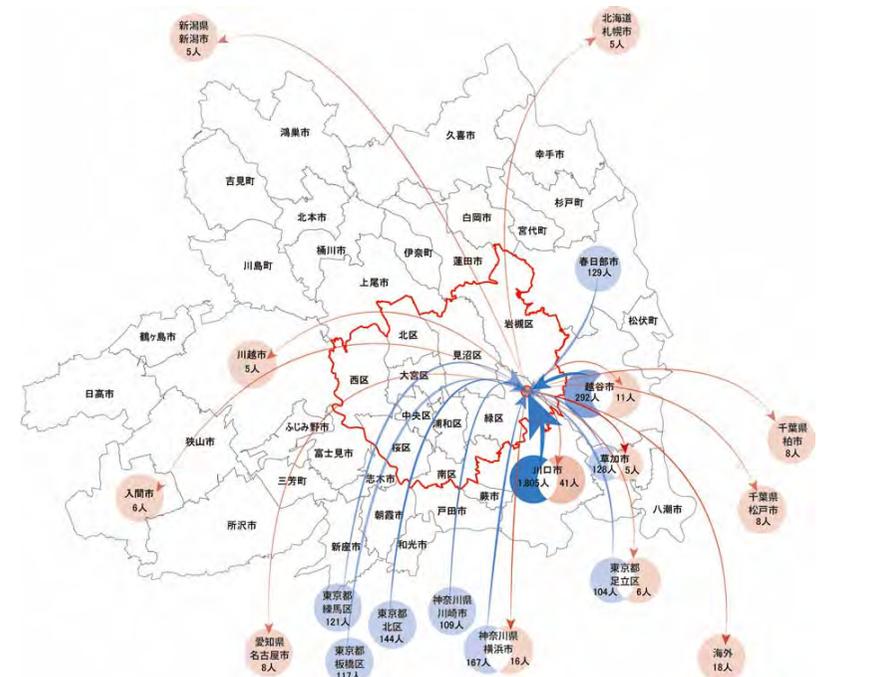
- ・ 緑区 浦和東部第一特定土地区画整理事業地内
- ・ 緑区 大門下野田特定土地区画整理事業地内
- ・ 緑区 美園1丁目～6丁目
- ・ 岩槻区 美園東1丁目～3丁目

③年代別にみた過去10年間の転入出状況

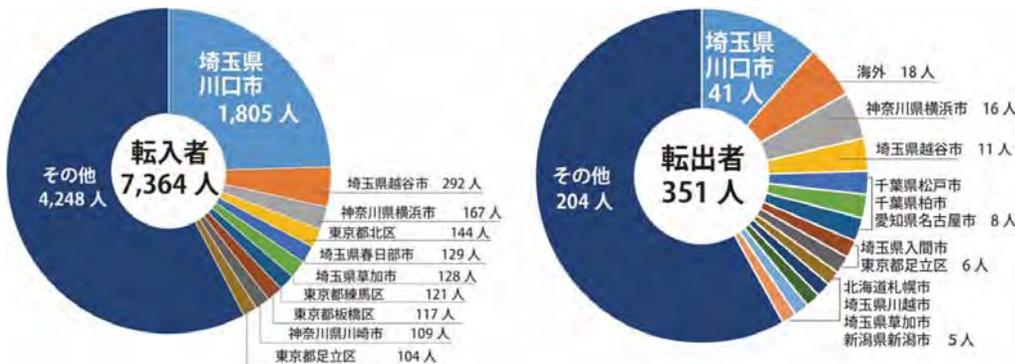


⇒ 10歳未満、30～40歳代を中心に転入している

④人口移動マップ（転入出数上位10市区町村を表示）



②浦和美園駅周辺地区の過去10年間の転入出者数



⇒過去10年間で7,013人の転入超過となっており、特に埼玉県川口市、越谷市、神奈川県横浜市からの転入者が多い

・ 10年間で浦和美園駅周辺のまちづくりの進捗に合わせ人口が急激に増加している。（直近5年で約5,000人増加）

・ 10歳未満、30～40歳代を中心に転入してきており、特に埼玉県川口市、越谷市、神奈川県横浜市からの転入者が多い。

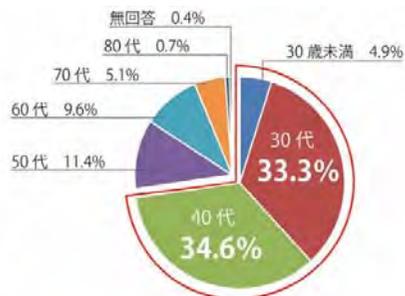
④浦和美園駅周辺における居住者アンケート調査結果(抜粋版)

■調査概要

- 平成29年9月29日～10月13日、さいたま市実施
- 浦和美園駅周辺に居住している方(集合住宅:約900世帯、戸建住宅:約160世帯)を対象にアンケート方式による調査【配布1067通、回収448通(回収率42.0%)※H29.10.13時点】
- 世帯構成、住環境満足度、浦和美園を選んだ理由、今後参加したい活動、今後の定住意向等について調査

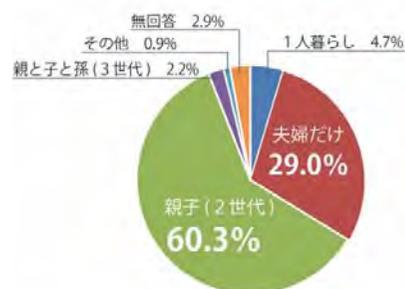
①浦和美園に居住している人の属性

世帯主の年齢構成



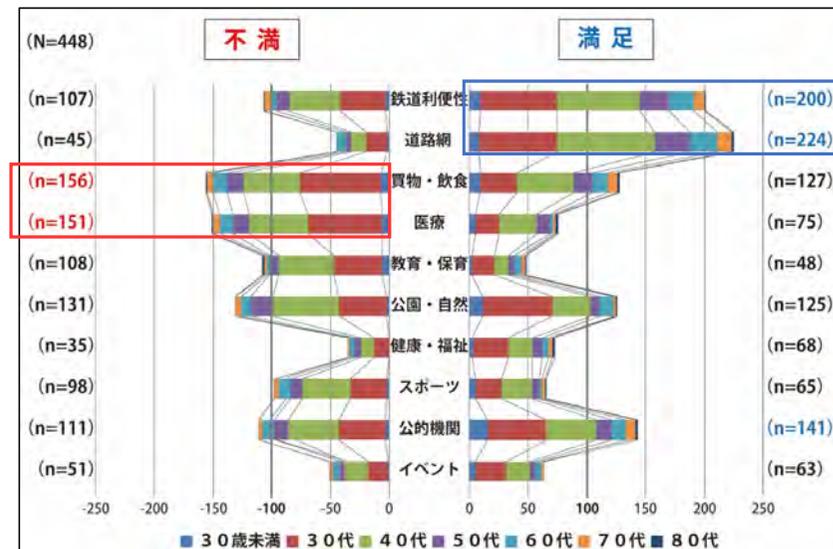
⇒20～40歳代が約7割を占めている

家族構成



⇒親子(2世代)世帯が約6割を占めている

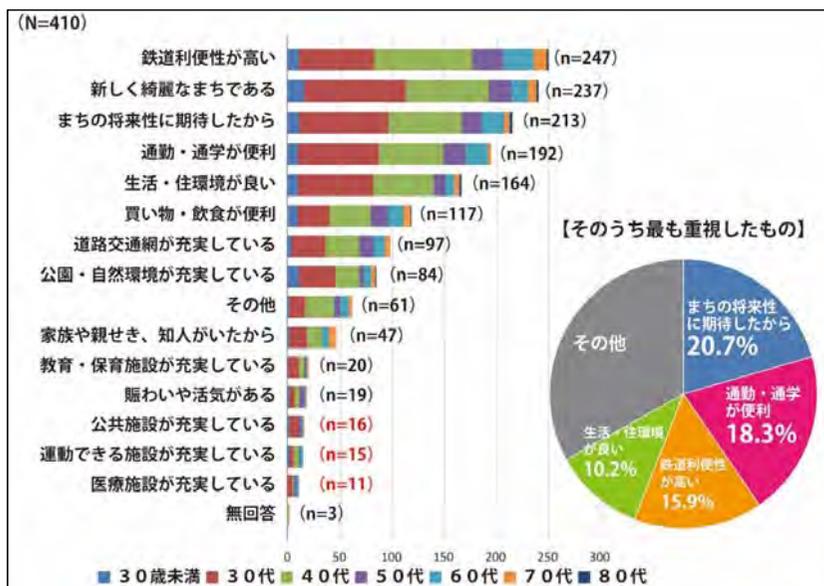
③年代別の浦和美園の住環境に関する満足度



⇒交通環境については満足している

⇒買い物・飲食、医療については不満と感じている

②年代別の浦和美園に移り住んだ理由



⇒浦和美園の魅力は、①鉄道利便性が高いこと、②新しく綺麗なまちであること、③まちの将来性があること

④今後参加したい活動



- ・居住者は40代以下の親子(2世代)世帯が半数以上で、まちの将来性や鉄道利便性に魅力を感じ転入してきている。
- ・居住環境については『交通利便性』に満足している。一方、『買い物・飲食』、『医療環境』に不満を抱いている。

⑤浦和美園駅周辺における商業・業務事業者アンケート調査結果(抜粋版)

■調査概要

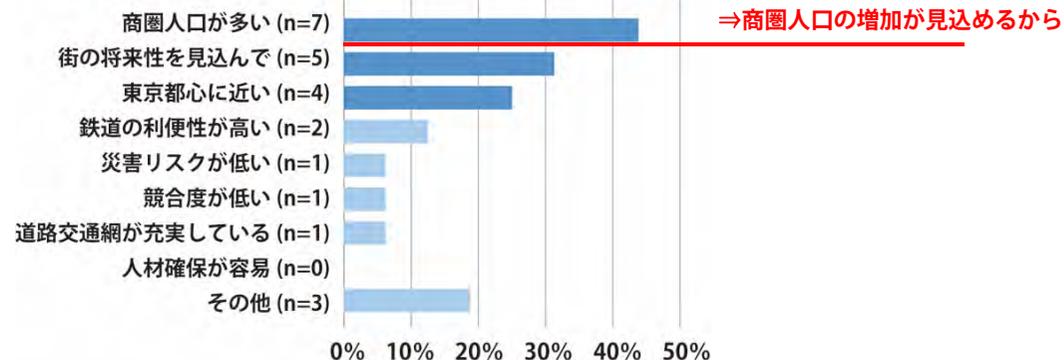
- 平成29年10月、さいたま市実施
- 浦和美園駅周辺に立地する主な商業・業務施設の事業者(18社)を対象に、ヒアリング又はアンケート方式による調査(回収16社 ※H29.10.20時点)
- 従業員数、年間来場者数、浦和美園駅周辺に出店(立地)した理由、今後浦和美園に望むもの等について調査

①浦和美園駅周辺における商業・業務施設の立地状況



③浦和美園駅周辺に出店(立地)した理由

(N=16)



⇒浦和美園駅周辺に出店(立地)した理由は、
今後、まちが発展する見込みがあるから(商圏人口の増加が見込める)

②浦和美園駅周辺における商業・業務施設の概要

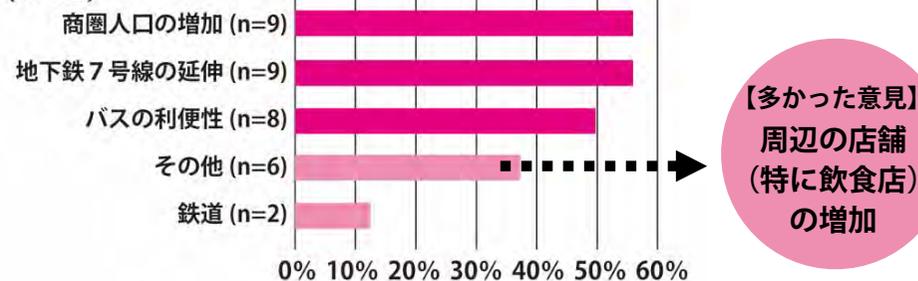
業態	施設・店舗数	従業員数(人)	来店者数(千人/年)
大規模小売店舗	1	約130人	約620千人
ホームセンター	1	約280人	約2,000千人
家電量販店	2	約70人	約170千人
小売業	5	約50人	約110千人
カーディーラー	8	約100人	約50千人
事務所	8	約300人	約5千人
公共施設等	4	約40人	約320千人
計	29	約1,000人	約3,280千人/年

⇒9千人/日

⇒今回調査した商業・業務施設に訪れる人数は約9,000人/日となり、成長目標である8,000人/日を達成した。

④浦和美園に今後望むもの

(N=16)



⇒今後、望まれていることは商圏人口の継続的な増加および、公共交通(バス・鉄道)の利便性の向上

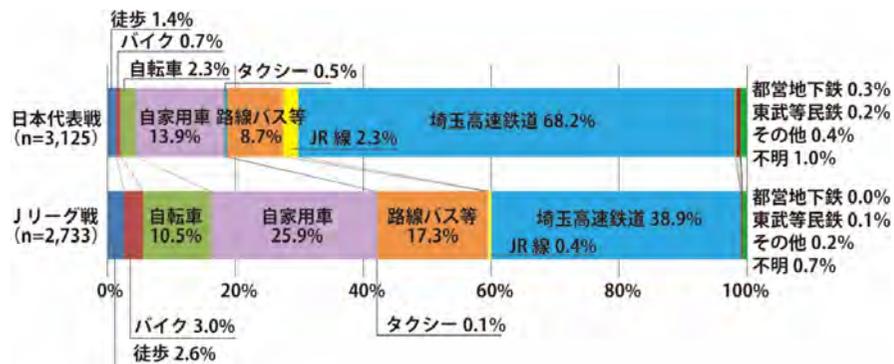
- 浦和美園駅周辺地区に立地する商業・業務系施設には、約1,000人が働き、年間約328万人(1日平均約9,000人)が訪れている。
- 事業者は、今後の人口増を期待して浦和美園駅周辺に出店(立地)している。

⑥浦和美園駅周辺におけるサッカー観戦者調査結果(抜粋版) (「地下鉄7号線延伸線基本計画(平成26年3月)」より)

■調査概要

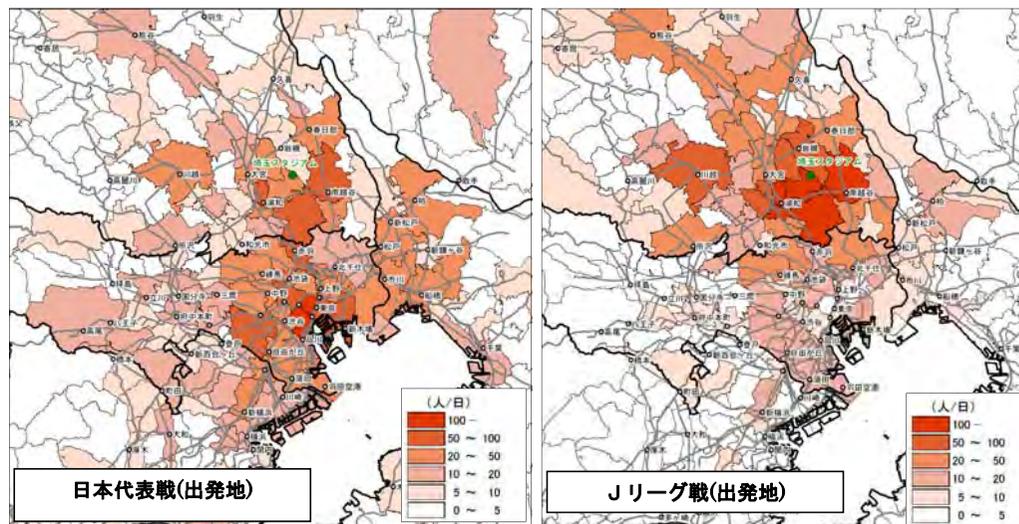
- ・平成25年6月～10月、埼玉県、さいたま市共同
- ・平成25年6月4日開催の日本代表戦および同年10月27日開催のJ1リーグ戦開催日において、アンケート用紙を配布し、郵送によって回収(回収率:日本代表戦5.1%、J1リーグ戦7.9%)

①埼玉スタジアムまでのアクセス手段



⇒日本代表戦では鉄道利用者が多い一方、Jリーグ戦では自家用車でのアクセスが日本代表戦と比較して倍増している

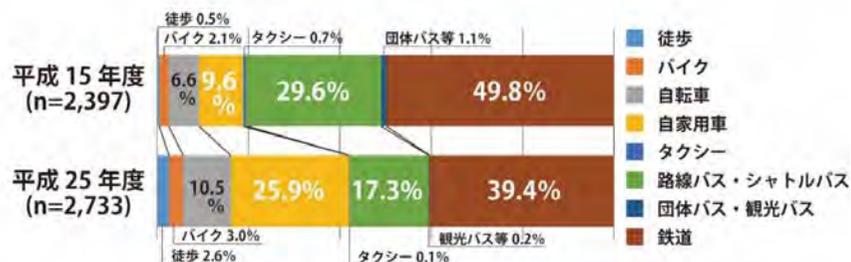
③来場者の出発地



⇒日本代表戦は、平日の夜開催であることから都内からの来場者が多くなっている。

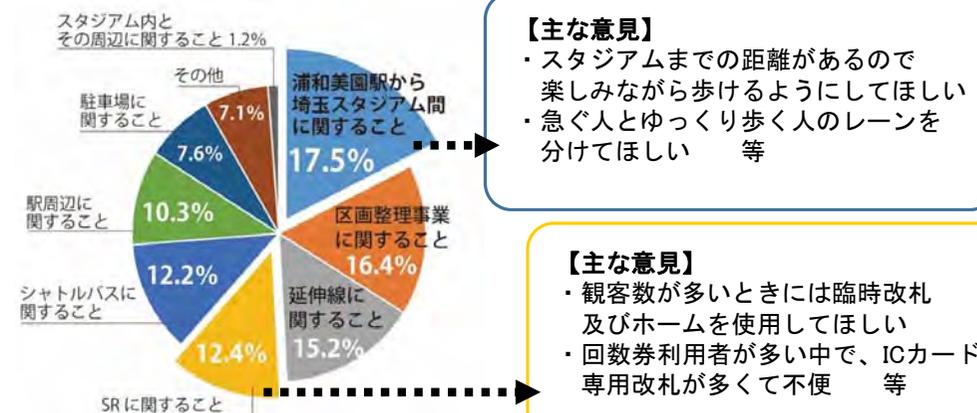
J1リーグ戦は、埼玉県内からの来場者が約7割となっている

②Jリーグ戦の埼玉スタジアムまでのアクセス手段比較



⇒10年間で自家用車での来場者が約15%増加していることについては、土地地区画整理事業の進展に伴い宅地化が進み、駐車場として活用されていることが影響していると想定される

④来場者が望むもの(自由意見)



【主な意見】
 ・スタジアムまでの距離があるので楽しみながら歩けるようにしてほしい
 ・急ぐ人とゆっくり歩く人のレーンを分けてほしい 等

【主な意見】
 ・観客数が多いときには臨時改札及びホームを使用してほしい
 ・回数券利用者が多い中で、ICカード専用改札が多くて不便 等

⇒駅からスタジアムまでのアクセス(歩行者空間)についての要望が多く挙げられている

- ・10年間で車での来場者が2倍以上増加し、鉄道利用者は約1割減少している。
- ・駅からスタジアムまでのアクセス(歩行者空間)についての要望が多く挙げられている。

⑦-1 イベント主催者アンケート調査結果【浦和美園駅周辺地区】(抜粋版)

■調査概要

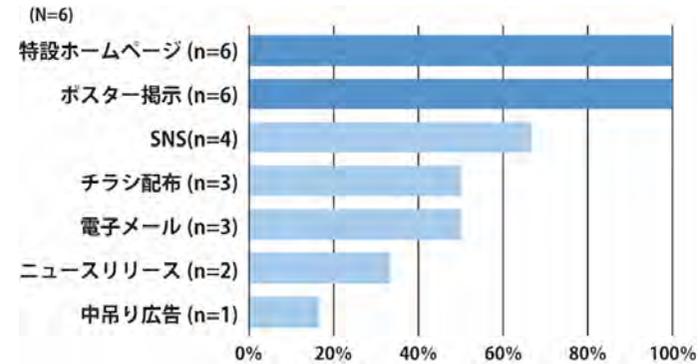
- ・平成29年10月、さいたま市実施
- ・浦和美園駅周辺において開催されているイベントの主催者を対象にヒアリング形式による調査
- ・開催しているイベントの概要、来訪者数、イベントの情報発信の方法、今後の課題とその対応策等について調査

①浦和美園駅周辺において開催されているイベント概要（平成28年度）

イベント	イベント数	年間来場者数 (千人/年)	備考
埼玉高速鉄道株式会社主催のイベント	約10イベント	約55千人	カルチャースクール等
美園タウンマネジメント主催のイベント	約16イベント	約2千人	みそのいち、浦和美園駅ホームBAR等
埼玉スタジアム2002サブグラウンド等で行われるイベント	アマチュアサッカー9試合 その他約8イベント	約320千人	アマチュアサッカー大会、フリーマーケット等
その他	2イベント	約5千人	ふれあいウォーキング、大門宿まつり
計		約380千人	開催数約30イベント

⇒年間約30種類のイベントが開催されており、約38万人が来訪している

②イベントの情報発信の方法



⇒インターネットおよびポスターによるPRは全てのイベントで行われている

③イベント主催者が考える今後の展望と課題

●イベント内容の充実と更新

⇒話題性のあるイベント内容の検討、飽きられないイベントにするための工夫

●イベントの認知度向上

⇒広報範囲の拡張（世代ごとに広告媒体を変えた宣伝

例)

- ・インターネット世代：「ジモティ」等の無料広告サイトの活用
- ・インターネット利用しない世代：タウン誌「ぼど」等の活用
- ・美園まつり&花火大会に出店し、ワークショップ等の体験型の広報活動を実施

●継続的なイベントの開催

⇒PRの拡充、来場者を増やすことによる収入増、イベントのブランド化（客単価の向上）等を図る

- ・浦和美園駅周辺では年間で約30種類のイベントが開催されており、約38万人が来訪している。
- ・イベントのPRは主にインターネットおよび、ポスターにより行われているがイベントの認知度を向上させることが課題として挙げられている。

⑦-2 イベント主催者アンケート調査結果【岩槻駅周辺地区】(抜粋版)

■調査概要

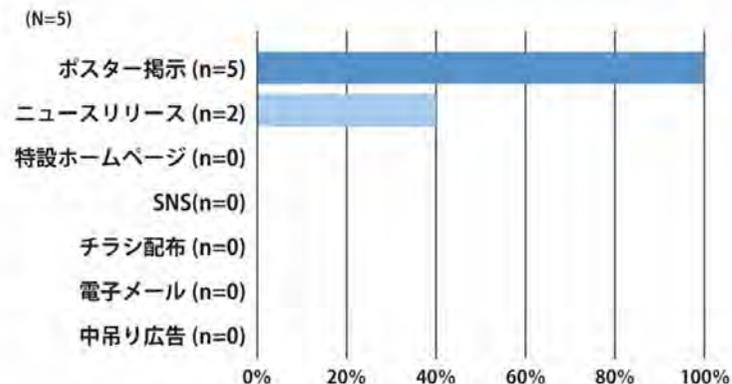
- ・平成29年10月、さいたま市実施
- ・岩槻駅周辺において開催されているイベントの主催者(市民団体)を対象にヒアリング形式による調査
- ・開催しているイベントの概要、来訪者数、イベントの情報発信の方法、今後の課題とその対応策等について調査

①岩槻駅周辺において開催されているイベント概要(平成28年度)

イベント	イベント数	年間来場者数 (千人/年)	備考
市民団体によるイベント	約3イベント	約6千人	端午の節句、重陽の節句、七夕まつり等
行政・実行委員会等によるイベント	約17イベント	約460千人	人形のまち岩槻まつり、城下町岩槻鷹狩り行列、花火大会等
計		約470千人	開催数約20イベント

⇒年間約20種類のイベント等が開催されており、約47万人が来訪している

②イベントの情報発信の方法



⇒情報発信は、主にポスター掲示によって行われている

③イベント主催者が考える今後の展望と課題

●雨天の場合の誘客

⇒大型施設でのイベントを企画する

●来客数が少ない。区内・市内・県内に浸透していない(宣伝不足)

⇒行政の協力やスポンサー企業等の発掘を行う

④イベントの開催について、市と連携できること

●市外・県外への宣伝、集客

●広域への情報発信、企画への参画

⇒特に情報発信について市と連携して行いたいという意見が多い

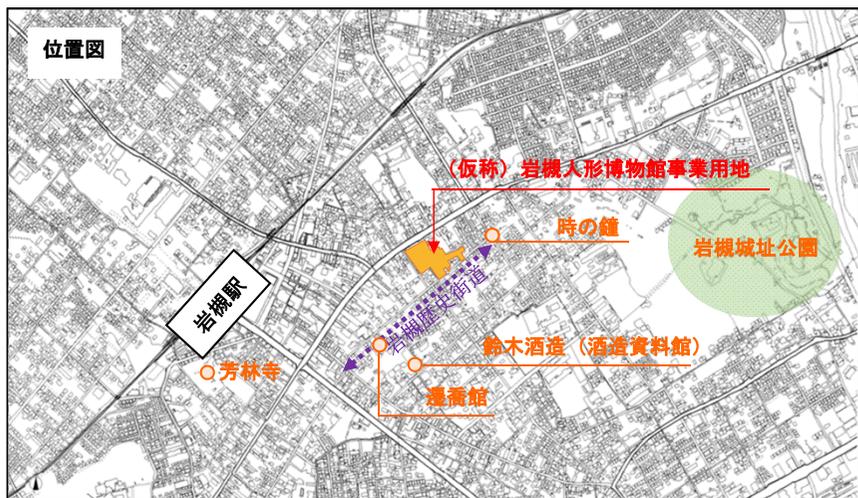
- ・情報発信は、主にポスター掲示によって行われている。
- ・特に情報発信について市と連携して行いたいという意見が多い。

⑧(仮称)岩槻人形博物館概要

■調査概要

・平成29年6月さいたま市議会文教委員会資料より

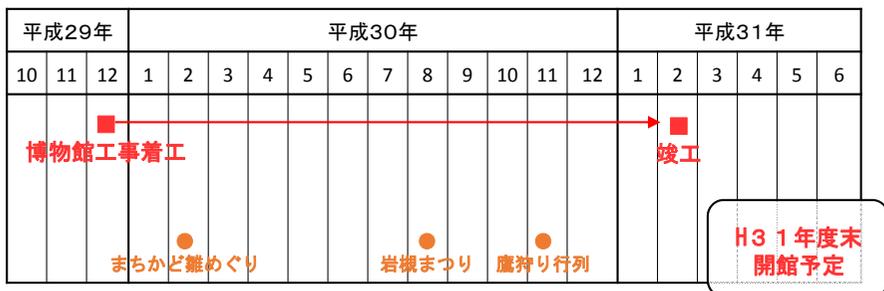
■(仮称)岩槻人形博物館の計画概要



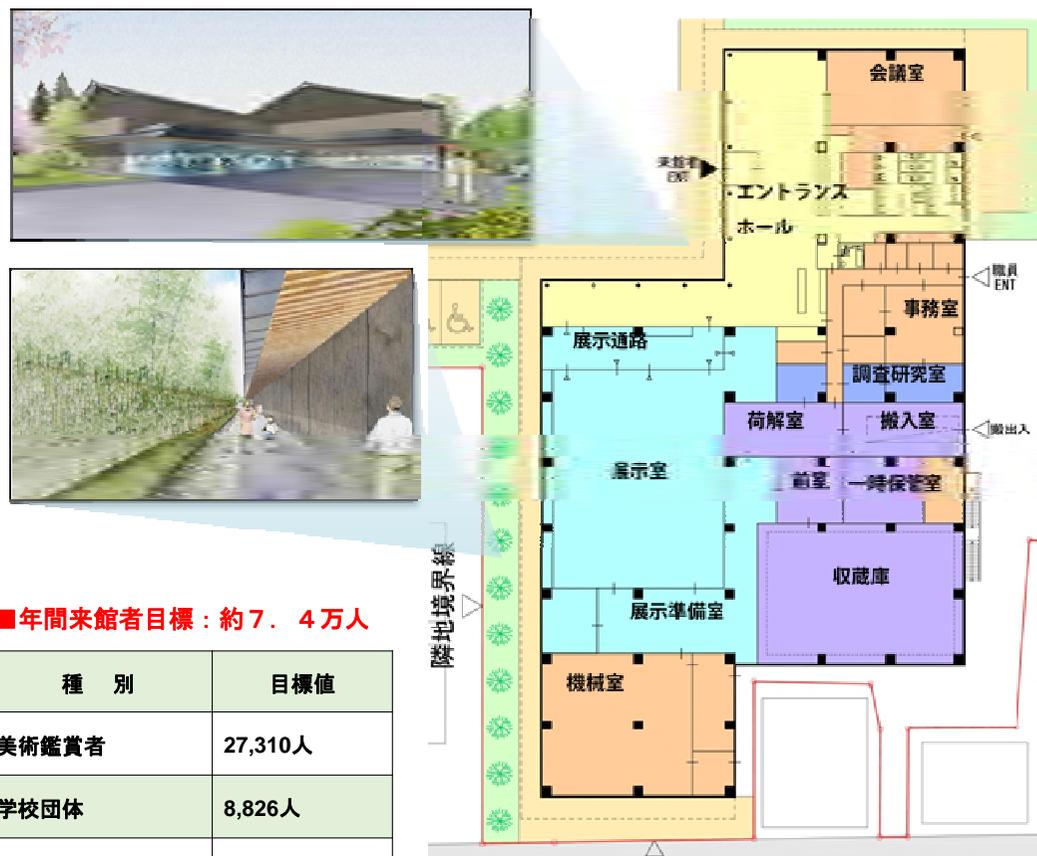
■施設概要

敷地面積	9,005.02㎡
建築面積	2,200.57㎡
延べ床面積	2,095.00㎡
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階数	地上1階
主要諸室	展示室、収蔵庫、事務室、会議室、機械室等

■工事工程



■施設整備計画図



■年間来館者目標：約7.4万人

種別	目標値
美術鑑賞者	27,310人
学校団体	8,826人
観光客	34,097人
訪日外国人	3,889人
合計	74,122人

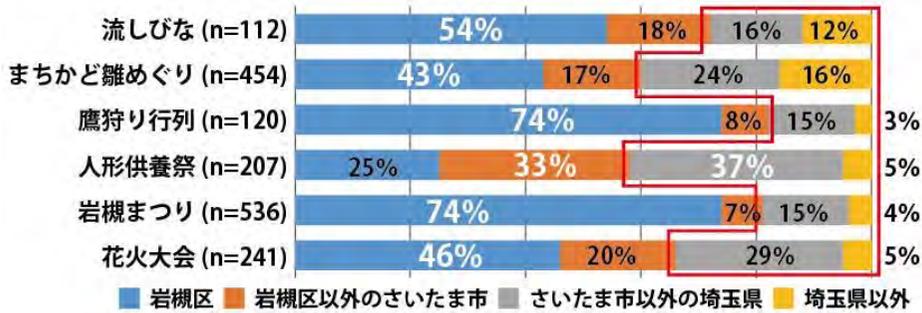
- ・平成31年度末の開館に向けて着実に事業を推進中。
- ・年間来館者目標は約7.4万人とし、うち外国人観光客を約4,000人呼び込む目標となっている。

⑨岩槻駅周辺地区において開催された主なイベントの来場者調査(抜粋版) (「平成26年度浦和美園～岩槻地域移動実態調査業務報告書(平成27年3月)」より)

■調査概要

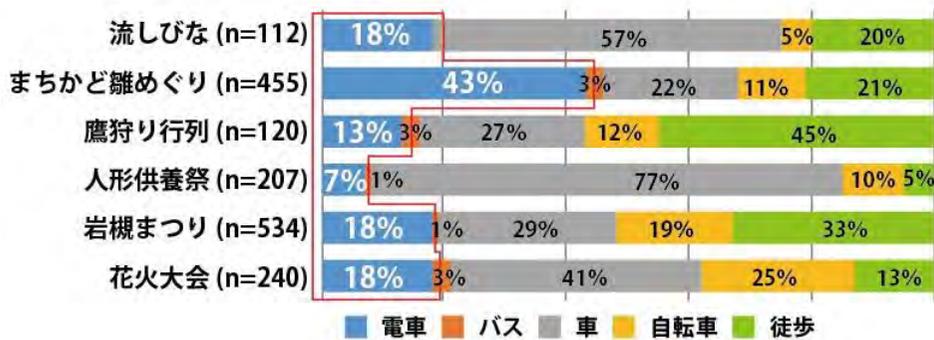
- ・平成26年8月～平成27年3月、さいたま市実施
- ・岩槻において開催されるイベント会場(6会場)において、調査員による聞き取り等の方式による調査 (出発地、交通手段、イベントの情報入手手段等について調査)

①イベント別の来場者の出発地



⇒「人形供養祭」以外はさいたま市外からの来訪者が少ない

②イベント別の来場者の交通手段

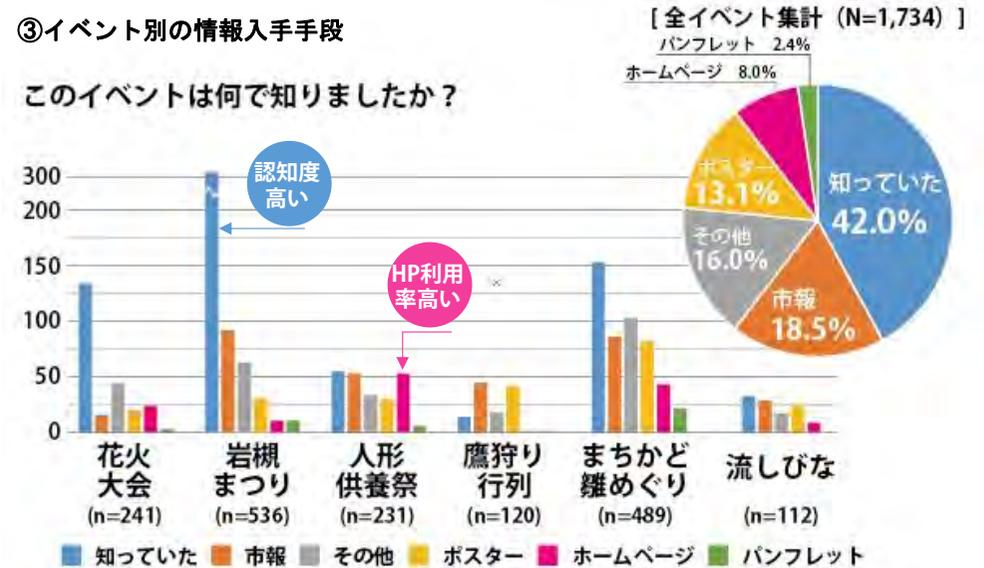


⇒平均の鉄道分担率は約2割

⇒「人形供養祭」は人形を運ぶ必要がある為車での来場が多い

③イベント別の情報入手手段

このイベントは何で知りましたか？



⇒『人形供養祭』は遠方からの来場者が多いこともあり、インターネットから情報を得ている割合が高い

(参考) 岩槻駅周辺地区において開催されている主なイベント等

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		流しびな まちかど雛めぐり	岩槻公園桜まつり	端午の節句		朝顔市 七夕	花火大会 人形のまち岩槻まつり	重陽の節句	やまぶきまつり	鷹狩り行列 人形供養祭	

約20種類のイベント等が開催 年間来場者数：約47万人(平成28年度)

- ・岩槻駅周辺地区では年間で約20種類のイベント等が開催されており、約47万人が来訪している。
- ・イベント来訪者の鉄道分担率は平均約2割と低くなっている。

■大学附属病院等整備計画の計画概要

立地条件	浦和美園駅から約1km
敷地面積(m ²)	約7.3万m ²
延べ床面積(m ²)	-
病床数(床)	800
職員数(人)	1400
うち看護師(人)	900
うち事務職員・その他職員(人)	250
学校関係者数(人)	-
うち教職員(人)(非常勤含む)	-
うち学生(人)	240
平均外来受診者(人/日)	約1,700
平均入院患者(人/日)	約1,100
医療機能(診療科数)	-
主な付属施設	大学院教育・研究施設、医療系学部施設、教職員・学生用宿泊施設 等
駐車場台数	-
周辺施設	大学院(医学研究科)併設予定
出典資料	・黒字は、埼玉県議会提出資料 ・赤字は、「平成28年病院運営実態分析調査の概要」に記載されている100床あたりの人数または面積から推計した概算値(2017.3.6時点)

■答申準拠ケースの定義

・地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)延伸について国の198号答申に伴う分析手法に準拠し、地域特性について考慮し、需要予測、B/C、採算性を試算するケース。
今後、国の調査や地域特性などの状況(データ)の変化については更新するものとする。

■答申準拠ケースについて

・国は東京圏における今後の都市鉄道のあり方について概ね15年後(2030年(平成42年)頃)を念頭に地下鉄、民鉄線及びJR在来線などの鉄軌道を対象に答申(平成28年4月)にまとめた。
・答申の「鉄道ネットワークのプロジェクトの検討結果(平成28年7月)」において各路線の分析結果(需要予測、B/C、採算性)を示した。
・分析は、新たな需要予測の手法について「鉄道需要分析手法に関するテクニカルレポート」(平成28年7月)や費用便益分析については「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル」(2012改訂版)に基づき実施した。
・分析にあたっては、複数のプロジェクト(路線)を統一な基準で相対的に分析したことから、地域特性の需要などは考慮されていない。
・延伸協議会では「答申準拠ケース」とし国の分析に準拠し「鉄道需要分析手法に関するテクニカルレポート」や「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル」(2012改訂版)に基づく。
なお、データとしてさいたま市の将来人口について国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口を大きく上回っていることから、さいたま市総合振興計画後期基本計画の将来推計値を補正し採用する。また、県、市が過年度に調査し、根拠が明確である「埼玉スタジアム2002の来場者」「大規模商業施設の従業者や来場者」などについて沿線の地域特性として大きく影響があるため分析にあたり考慮する。

■社会的割引率について

・地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸については、都市鉄道等利便増進法(以下、利便法)の適用を前提に取組んでおり、B/Cや採算性等の算出には、「鉄道プロジェクト評価マニュアル2012改訂版」(以下、鉄道評価マニュアル)に基づく必要がある。
・鉄道評価マニュアルには、「社会的割引率は、公共事業評価において費用便益分析が導入されて以降、国債の実質利回りを参考として4%に設定する・・・」(出典:鉄道プロジェクト評価マニュアル2012改訂版)と記載されている。

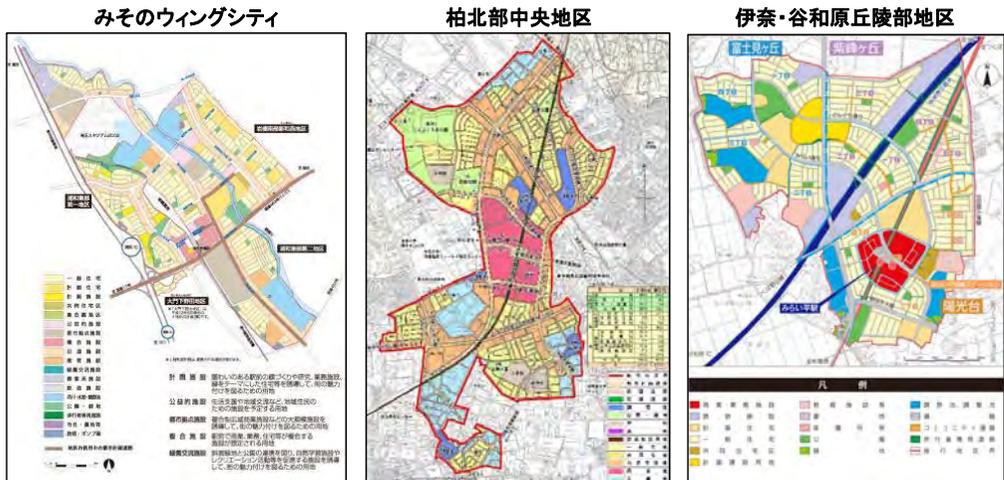
⑫浦和美園駅周辺地区の将来人口の推計について

■類似他地区との定住人口の推移比較



項目	①みそのウイングシティ (浦和美園駅)	②柏北部中央地区 (柏の葉キャンパス駅)	③伊奈・谷和原丘陵部地区 (みらい平駅)
施行面積	316.50ha	272.90ha	274.9ha
計画人口	31,560人	26,000人	16,000人
施行期間	平成12年度～平成33年度	平成12年度～平成35年度	平成5年度～平成29年度
駅開業	平成13年3月	平成17年8月	平成17年8月
都心からの距離	約25km	約40km	約25km
東京駅からの運賃	800円(乗車43分) (東京-王子-浦和美園)	781円(乗車45分) (東京-北千住-柏の葉キャンパス)	987円(乗車61分) (東京-南千住-みらい平)
駅前の地価	285,000(円/㎡) (地価公示) (平成29年時点)	303,000(円/㎡) (地価公示) (平成29年時点)	103,000(円/㎡) (都道府県地価調査) (平成29年時点)

■土地利用計画図



①みそのウイングシティ(浦和美園駅)

5年間で約5,000人増加(H24年～H29年)



出典:『さいたま市の人口・世帯(平成13～28年)』、『浦和東部人口・世帯数(平成25年)』、『区画整理地区内外人口世帯(平成26～29年)』
 全てさいたま市、『統計年鑑(平成14～26年)』埼玉県、『経営状況・輸送状況(平成26～28年度)』埼玉高速鉄道
 ※平成13～平成22年の「みそのウイングシティ」の人口は推定値です。

②柏北部中央地区(柏の葉キャンパス駅)

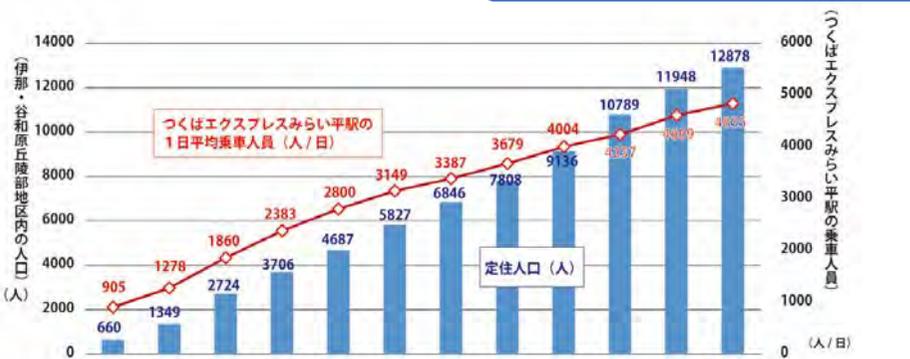
平均人口増加数：約1,020(人/年)



出典:定住人口(大字町丁・男女別住民基本台帳人口:柏市HP) 1日平均乗車人員(つくばエクスプレスHP)

③伊奈・谷和原丘陵部地区(みらい平駅)

平均人口増加数：約1,100(人/年)



出典:定住人口(市提供資料) 1日平均乗車人員(つくばエクスプレスHP)